

私たちのまちのテレビ局

ケーブルネットワーク淡路

電話

加入者間同士なら無料で通話いただけるケーブル電話! 洲本市との連携が決まり、春から洲本市ケーブルテレビ加入者とも無料で通話できるようになります。

テレビ

地域密着が売りのコミュニティチャンネルが春からハイビジョン化します! ふるさと南あわじ市の様々な出来事を美しい映像でお楽しみください。

有料番組

さんさんネットの多チャンネルサービス「さんさんセット」なら、月額2,625円で様々なジャンルの番組27チャンネルをお楽しみいただけます。

インターネット

月額2,625円で使い放題! ご自宅のIP告知放送端末で手軽にインターネットをお楽しみいただけます。加入・解約も1か月単位で可能! 初心者の人にも安心安全なサービスです。

「みはら」という地名の初見は、『古事記』に「阿具知能三原郎女」とある。『日本書記』には、「淡路御原皇女」、また「淡路御原海人」とある。平城京出土木簡には「三原郡阿麻郷」と記されている。承平年中(九三〜七)に編纂された『和名抄』によれば、淡路の三原の読み方は「美波良」である。「みはら」の起源は、『日本書紀』に記述されている応神王朝の遊獵地説が通説で、応神・履中・允恭天皇が淡路で遊獵されている。当時の三原平野は、格好の狩獵地であったので、「御獵野」となり、やがて「御井宮」とか「淡路宮」とよばれる離宮が設けられたのであろう。御獵野が御原となり、「三原」とも記されるようになったのであろう。「み」は、美称に用いる接頭語

続三原郡史

郡史の拾い読み 知っておきたい...

地名の由来

その32

三原と御原(みはらとみはら)

美波良

である。淡路のほかに「みはら」という地名は、筑後国御原郡、安房国朝夷郡御原郷、備後国御調郡柞原郷がある。この柞原も『和名抄』で「美波良」と読んでいる。中世になって柞原が三原と書かれるようになった。これが広島県三原市の地名の起源である。

明治三十年(一八九七)、湊と松帆古津路を結ぶ三原川の叶堂の渡しの上に、泉宮の木橋が架けられ、県は、それを「御原橋」と名づけた。湊橋とも松帆橋ともつけられず、また、三原川橋ともせず、松帆村に残る御獵野原の伝承からで、湊村側にも異論なく御原橋と名付けられたのであろう。

限定版! 『三原郡史』の続編!

編集事務局

市長公室 ☎ 43・5002



※各説 地名の改変 三原郡の大字と冠称の由来から抜粋